平成30年度 兵庫県高齢者の集い

今年度も盛大に！ 会場に約600名の県内会員集う！

平成30年度兵庫県高齢者の集いを9月18日、兵庫県公館にて開催し、県内各地から約600名の会員が参加しました。

開催前には、兵庫県知事と県内9ブロック老連の代表、県老連女性・若手委員長が、さまざまな意見を交わしあう「兵庫県知事と県老連との意見交換会」を開催。

高齢者の集いでは、まずはじめに90歳以上で現在も健康で活躍され、社会活動に貢献されている24名の方に、高齢者特別賞が贈られました。また、永年にわたり老人クラブ活動に貢献された個人や団体に対し、兵庫県知事・兵庫県老連会長から表彰状が手渡され、会場からはその功績に盛大な拍手が送られました。また、全老連の活動賞ならびに100万人会員増強運動特別賞の伝達も行いました。

続いて来賓の松本隆弘県議会議長より祝辞をいただき、大会宣言（案）の朗読が行われ、式典は終了。第2部のサークル活動発表で披露されたのは、宝塚市老連による楽器演奏と芦屋市老連による三味線演奏。それぞれ熟年の磨かれた演技で、集いに華を添えました。

知事との意見交換会 県老連からのメッセージ

井戸知事と県老連との意見交換会において、中村会長のあいさつに続いて、9ブロック老人クラブ連絡協議会会長が、地域の実情や課題を踏まえて意見発表し、女性委員長と若手委員長からは女性、若手の立場で発言しました。知事からは、意見、要望に対して、次頁のとおり回答を頂きました。

東播磨ブロック

老人クラブのイメージアップを図るには

県老連理事 **金川　寛**（加古川市）

団塊世代が高齢者の仲間入りをし、老人クラブに加入しなくても、趣味の仲間同士楽しくやれればよい等に考え方も変わっています。

会員増強の取り組みについては、老人クラブ単独では、現状の打開は難しいので、健康で元気な高齢者を増やし、地域に貢献する老人クラブに対し、県全体、官民一体となって行える、老人クラブのイメージアップを図れる打開策の提案や老人クラブのあり方への助言をお願いします。

北播磨ブロック

魅力ある老人クラブを情報発信

県老連副会長 **真鍋 宣征**（西脇市）

会員および未加入者が、老人クラブは楽しく、信頼できると思える「魅力あるクラブづくり」に取りくみ、各方面への働きかけや情報発信ならびに広報活動を進めます。加西市老連では、「シニアのためのスマホ活用インスタ教室」を実施しています。

各種研修での貴重な意見を尊重し、新しい取り組みや現代に即した活動を行う人材を確保し、先輩が創りあげられた老人クラブを良いものにし、新しい時代の老人クラブに挑戦します。

中播磨ブロック

健康づくりや3世代交流に取り組む

県老連理事 **藤岡　修**（福崎町）

中播磨ブロック3町は、県内老連の中で会員加入率および1クラブの会員数は県下1位。元気な高齢者を目指す健康長寿づくりが最大の目標です。

健康づくりとして、グラウンド･ゴルフ、ウォーキング、いきいき体操･ふくろう体操を実施。老人ホームの慰問や幼稚園での3世代交流事業のほか、独居や寝たきり老人の会員を訪問しています。地域の子ども達とさつまいも掘り、稲を育てる体験や餅つき大会で世代交流も図っています。

阪神南ブロック

「西宮いきいき体操」でクラブの魅力アップ

県老連理事 **山﨑 喜夫**（西宮市）

西宮市老連は、「会員増強運動」の推進と「西宮いきいき体操」の普及に力を入れています。会員増強では、老人クラブの魅力を高めるとともに、市老連として単位老人クラブへの支援策を講じる必要があります。また、「西宮いきいき体操」は、大変好評で当会老人クラブの魅力の一つとして、取り組んでいます。今後は、運転免許証の自主返納を推進したいので、「運転経歴証明書」の提示による特典の拡大をお願いします。

阪神北ブロック

県有地を常設のグラウンド･ゴルフ場に

県老連理事 **丸山 敏勝**（三田市）

三田市老連では、誰もが気軽にいつでもグラウンド・ゴルフを楽しめるよう、今年4月より有馬富士森林公園の芝生広場を三田市から借り受け、常設のグラウンド・ゴルフ場を開設しました。芝生の管理は、市老連が市から歩行型芝刈り機をその都度借用しています。

現在借用している広場は狭小なため、県所有地をグラウンド・ゴルフ専用グラウンドとして借用すること、乗用芝刈り機の貸与が出来ないか伺います。

わたしたちはのじぎくクラブ兵庫の活動をサポートしています